



生駒市立鹿ノ台小学校

鹿小だより



鹿ノ台ホームページ

令和 6年 5月 17日

第 4 号

授業・教室風景

4年生の理科の授業

子どもたちが1人1本ずつ温度計を手に出してきました。日向、日陰の気温の違いを調べる学習です。温度計は直射日光が当たらないように白い画用紙で覆いをしてあります。あらかじめ決められた場所を測定するのではなく、自分たちで考えて、アスファルトの上や土の上、砂利道の上、芝生の上や大きな木の下など校庭のあちこちで測定し記録していました。理科専科の先生が「高い所と地面の近くとでは同じなのかな」と声をかけると、それまで地面付近ばかり測定していた子どもたちもジャングルジムやすべり台、築山の上に登りはじめました。やがて1人の子が「トンネルの中はどうか

なあ」とつぶやきながら築山トンネルの中に潜り込み中の気温を測定します。

こうして、目的意識をもって、考えて(予想して)測定場所を探し選択し試行錯誤していく過程も大切な学習だと感じました。

今年度から生駒市独自の政策として高学年専科教員を1名配置することが決まりました。本校の場合は、4年生を担当しています。火曜と木曜の2日間だけの勤務であるため、天気によって左右されやすい単元の場合は、週間予報が気になるところです。



3年生の校外学習のまとめ

あいにくの雨ふりの日でしたが、3年生は生駒北給食センターと生駒山上遊園地へ校外学習に行ってきました。

戻ってきた翌日、早速、給食センターを見学して学んだこと、考えたことをまとめました。一番印象に残った場面を思い出して絵にしています。食物アレルギー専用の調理場や容器があることに驚いてその場面を絵にした子もいます。調理人さんの勤務について心に残った子は、「りょうりを作る人は5時におきて7時にきゅうしょくを作りはじめるそうです。まいあさ作ってくれていることにかんしゃします。」と書いていました。



2年生の体育の授業

鉄棒の個人練習をしていました。逆上がり練習器を使ったり、担任の先生に体を支えてもらいつつ足を持って勢いをつけてもらったりして、逆上がりができるよう繰り返し練習をしていました。「先生、見て」と後ろまわりの連続技をくるりくるりと見せる子やコウモリのように足を引っかけて逆さづりになって、腹筋を鍛えるみたいに上体を上げ下ろしして見せてくれる子もいます。それぞれのめあてと課題に沿って、技にチャレンジしていました。



校外学習 撮影業者の同行と販売について

各学年の校外学習の様子を撮影、販売してもらうことにしました。そのため、各学年1名の撮影業者の人が校外学習に同行します。例年、卒業アルバム掲載用の撮影として、5年の野外活動、6年の修学旅行のみ同行してもらい販売していましたが、昨年度に業者と交渉し、今年度から全学年の校外学習の写真販売が可能となりました。

販売方法や金額についてのお知らせは、校外学習後、しばらく時間をおいて担当業者から学校へ届き次第、配布いたします。ネット販売、業者から各家庭への直接配送となる予定です。

算数のわり算の筆算だけど、暗算の学習...

算数の数と計算の学習では、「数をいろいろな見方で表そう」という課題が繰り返し登場します。算数では、数を多様に捉える力も大切。例えば、98を100まであと2つ、 $90+8$ 、 $50+48$ 、10が9つと1が8つなどいろいろな見方(表し方)ができるようにします。

4年生の5月、2桁(3桁) $\div$ 1桁の整数の割り算を学習していましたが、単元の終盤で、『 $98\div2$ の暗算のしかたを考えよう』という課題がありました。でも、頭の中で筆算の式を思い浮かべて計算するのは違うのです。98を $80+18$ と捉えて、 $80\div2=40$ 、 $18\div2=9$ 、合わせて49と計算します。

$98\div7$ なら、

$(70+28)\div7=10+4=14$ と考えます。

割る数によって、98を都合よく捉え直す。98は98だという見方ではなく、98について多様で豊かな見方ができるようになると、算数の世界が少し広がるかもしれません。とはいえ、そうは簡単なことでもなく、苦勞している子も少なくないはずです。筆算した方が楽やんという気持ちにもなるものです。

こうした暗算のしかたを考えることで、数の見方を豊かにしたり、そんな考え方ができるのかおもしろいなど感じたりすることに繋がると良いなと感じました。

学校教育目標と今年度の重点目標について

令和6年度鹿ノ台小学校の教育目標は、昨年度に引き続き、「学ぶ意欲と豊かな心を持ち、たくましく生きる子どもを育てる」です。この目標に向かって、本校の教育活動を進めるための土台が、今年度の重点(目標)です。今年度は、3つの土台とそれを具体化する取組の方向6項目を定めました(下図点線枠囲みの台形部分)。

めざす子ども像、学校像、教師像を意識しながら、さまざまな具体的な取組を進めていくことで、3つの土台をより強固なものにし、学校教育目標に近づいていこうというイメージでデザインしたのが、下図の学校教育目標のグランドデザインです。



重点目標で、子どもたちに願っていることは、

「みんなが安心して安全な学校生活を送れるよう、互いに決まりや約束を守ろうとすること」

「周りに流されず正しいことと良くないことについて自分で判断すること」

「自分や仲間の良さを知り、互いに認め合うこと」

「自分から課題を見つけ、友だちと意見交流しながら考えを深めていくこと」

「自分の考えや思いを伝える意欲や力をつけること」

これらは、私たち教職員の重点目標であり、子どもたちと一緒に取り組んでいく力の入れどころです。ご理解とご協力をお願いいたします。

○多様性への理解と規範意識の向上

- ①決まりを守り、優しい気持ちの醸成と自己有用感を高める取組の推進
- ②多様性への理解や自分らしさを発見し互いに尊重しあう態度の育成

○主体的・対話的で深い学びの推進

- ③児童が主体的に協働して学び、考えを広げ深める学習の推進
- ④地域と連携した郷土学習やキャリア教育の推進

○保護者、地域から信頼される学校づくり

- ⑤問題行動への組織的な対応
- ⑥「鹿ノらしさ」についての共有と取組の推進

